

特 記 仕 様 書

この特記仕様書により購入する減圧弁、ストレーナー、及びハイレジコンピットは下記の仕様に基づいて製作されるものとする。

1. 減圧弁

1-1 構 造

- (1) 圧力調整機構は、主弁部・パイロット部とその間を接続する配管部から一体構成され、圧力の変動に対して確実に、且つスムーズに対応し、常に安定した設定圧力を一定に保持できる構造とする。
- (2) 弁はピストン形、流水通過部はライナー構造とし、ハンチング、ウォーターハンマー、キャビテーションの発生しにくい構造とする。
実用キャビテーション係数は $\sigma=0.35$ とする。
- (3) 主弁開度にリンクさせた可変ニードルにより流量変化に対応可能な構造とする。
- (4) 弁の開度は外部から容易に確認でき、必要に応じて手動操作で簡単に全開、または全閉できるものとする。
- (5) 設定圧力は弁の設置してある場所で、パイロット弁の目盛りを見ながら簡単に変更が出来るものとする。

1-2 主要部材質

- | | | | | | |
|-------|---|-----------|--------------|--------|--------|
| (1) 弁 | 箱 | FCD450-10 | | | |
| (2) カ | バ | ー | FCD450-10 | | |
| (3) シ | リ | ン | ダ | ー | SUS304 |
| (4) ピ | ス | ト | ン | CAC902 | |
| (5) ラ | イ | ナ | ー | CAC502 | |
| (6) シ | ー | ト | ゴムとメタルの組み合わせ | | |

1－3 製作仕様

形 式	ピストン形
口 径	φ 250
数 量	1 台
一 次 側 圧 力	0.8～0.9 MPa
設定出口側圧力	0.5～0.6 MPa
弁箱耐圧試験	1.75 MPa
弁座漏れ試験	0.75 MPa
面 間 寸 法	700mm
塗 装 仕 様	内外面 ^{エポキシ} 樹脂粉体塗装

※面間寸法は厳守すること。

1－4 検 査

- (1) 日本水道協会検査合格品とする。
- (2) 水質基準浸出試験合格品とする。

2. ストレーナー

2－1 構 造

- (1) 形状はバケット形で、本体・スクリーンから構成され、内部のゴミなどの除去を行なう時には、スクリーンが簡単に取り外し及び組立が簡単な構造とする。

2－2 主要部材質

- (1) 本 体 部 FCD450-10
- (2) ス ク リ ー ン SUS304

2－3 製作仕様

形 式	バケット形
口 径	φ 250
数 量	1 台
フランジ`規 格	JIS 7.5K
弁箱耐圧検査	1.75 MPa
面 間 寸 法	600mm
塗 装	内外面 ^{エポキシ} 樹脂粉体塗装

※面間寸法は厳守すること。

2－4 検 査

- (1) 日本水道協会検査合格品とする。
- (2) 水質基準浸出試験合格品とする。

3. ハイレジコンピット

3-1 構造

- (1) 減圧弁・ストレーナー用弁室として使用し設計荷重 T-25 とする。
- (2) 鉄蓋の据付は据付用ボルト・ナット 3ヶ所で固定し、
調整モルタルを路面レベルに合わせて据付を行うものとする。
- (3) 配管のレベルは水平に設置する事とする。
- (4) 弁室は一体型にて製作（工場内組立）するものとし、完全水密一体型でなければならない。
また、流入・流出管部についてはスラストを受けられる構造でなければならない。
- (5) 弁室内部にはステップを設置しメンテナンス時などに問題なく
弁室内部に人が入れる寸法を有してなければならない。

3-2 材質

- (1) レジンマンホールの材質は熱硬化性合成樹脂に骨材、砂を混合して硬化させたレジンコンクリート製とする。
- (2) 引張、圧縮、曲げ強度はセメントコンクリートの 4～5 倍を持ち、トラックの輪荷重や埋め戻し土圧に対して、十分な強度を持っていること。
- (3) レジンマンホールの出入り管の貫通部には現地での型枠、及び補強コンクリートを必要としないこと。
- (4) 耐水性、対薬品性に優れ、吸水抵抗が高く凍結融解による劣化がないこと。

3-3 製作仕様

形	式	箱形
内	寸	2300L×1300W×150H
口	径	φ 250
数	量	1 基
土	被	
荷	重	T-25
鉄	蓋	φ 900

以 上